



- 4) 防犯防災費 400,000円
- 5) 備品購入費 1,000,000円
- 6) 事務費 600,000円

関係予算の7)にビジョン新規事業用費用として、1,000,000円を総務費の中に計上をしたのは、ビジョンにもとづく新規事業の費用が未確定のためです。

- 8) 雑費 500,000円

以上の結果、総務委員会事業予算は176,200円、協議会全体の総務費予算額は4,650,000円となる。」と述べた。最終の全体予算は来月の定例理事会に諮ることになる旨を述べた。

#### <企画運営委員会>

阪本企画運営委員長から、平成24年度企画運営委員会の事業計画(案)について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「企画運営委員会の事業計画としては、先般策定された地域ビジョンの7項目のプロジェクト事業の内、本年度中に具体的に取組みが決定した事業の費用は総務費に計上された。(100万円)。従って当委員会は、重点プロジェクト推進の為の諸費用(パンフレット、ポスター作成費、事業説明会費用等)、及び未着手地域ビジョン重点プロジェクト事業の情報収集経費を計上した。以上の結果、本年度の予算の総額は350,000円になる。」と述べた。

#### <広報委員会>

野邊広報委員長から、平成24年度広報委員会の事業計画(案)について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「おおまかなところは大きな変更は無いが、平成23年度に取組んできた広報の事業内容について検証をしたが、地域住民の皆さんに満足頂けたのか、反省点は多々あった。本来はこの検証にもとづき、かつ又地域住民の方々が何を求めているのかを勘案し、次年度の事業計画の立案をしなければならないと思っている。こうした状況の中で、平成24年度内の計画を資料に記載のように策定をした。

基本的には平成23年度と同様に取組む事業と、前年の反省点を踏まえた上での発展的な事業展開が必要となるものとした。

具体的には、「ききょう通信」を隔月で年間5回発行する。ホームページの管理運営の事業は最近少し作業が進んでいるが、平成23年度は十分な更新等の作業が出来なかったので、平成24年度は充実させて行きたい。そのため今後は可能であれば外部委託も検討して行きたい。このために予算額が前年比較63,000円増となっている。

広報委員会としては、この2つの事業を通じて、地域住民の方にタイムリーな情報の発信をしていきたい。

予算額は以上の事業推進のため、総額385,000円(詳細は資料に記載)

を計上した。」と述べた。

#### <健康推進部会>

高槻健康推進部会長欠席の為大垣副会長から、平成24年度健康推進部会の事業計画(案)5事業について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

##### 健康推進部会が行う事業(案)

##### 1. 敬老の日の行事

地域の高齢者の方への感謝と長寿を祝い、70歳と88歳の方に長寿記念品、70歳以上の方にお祝い品を贈呈する。

予算額1,650,000円。

##### 2. ききょう健康まつり

地域の皆さんが健康について考え、暮らしの中の健康づくりについて再認識するきっかけづくりとする。

ウォーキングを平成24年10月27日(土)、健康まつりは平成24年11月4日(日)に実施する。

予算額は400,000円。

##### 3. ニュースポーツ世代間交流大会

各種のスポーツを通じて地域内の世代間交流の場を提供し、活力のある地域社会を推進する。

実施は平成25年3月23日(土)。グランドゴルフ、クロリティー、カラーリング等を実施する。

予算額60,000円。

##### 4. 体操会との協働事業

桔梗が丘体操会をより発展させる為の協働事業。実施は3月から11月末まで。桔梗が丘体操会の10周年記念事業は内容を検討中。

予算額130,000円。

##### 5. ききょう健康講座

地域の皆さんの健康啓発を目的にして、健康づくり教室(ベルフラワー教室)と健康講座、集団がん検診、健康体操教室、広報紙の発行(回覧)等の事業を行う。

予算額144,000円。

従って予算額の合計は2,470,000円を計上した。

以上の提案説明があった。

#### <住民交流部会>

廣岡住民交流部会長から、平成24年度住民交流部会の事業計画(案)2事業について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、子どもから大人まで地域住民が参加し、様々な催しを楽しみ、親睦を深める。又他地域の人々に地域住民の交流を発信する場とすることを目的

にして次の2事業を実施する。」と述べた。

1. 桔梗が丘夏まつり

実施予定日は平成24年8月18日(土)、場所は桔梗が丘商店街で開催する。今年が9回目となるが、毎年多少の手直しをしながら10年の節目まで、模擬店、フリーマーケットの出店、盆踊り、パレード、アトラクション等の内容で実施することになっている。住民の皆さんへは、当初は抽選会、ビンゴ大会をしていたが、一昨年からは模擬店利用券の配付をすることに変更した。平成23年度は300円券にして好評であった。

平成24年度は、場所を提供していただいている商店街に空き店舗が相当数あるようなので、これを利用した休憩所の設置を考えている。

予算額は繰出し金900,000円、協賛金850,000円としたい。

2. ハッピーニューイヤーききょうフェスタ

実施予定日は、平成25年1月12日(土)にハッピーニューイヤーききょうフェスタ、平成25年1月14日(月)にどんど焼きの行事を予定している。内容はワークショップ、子ども向けイベント、お菓子屋台村等、平成23年度とほぼ同様となる。

「どんど焼き」は、2番町区の保存会の協力のもと、2番町三角公園で実施する。

予算額は、どんど焼きの参加者が年々増加傾向にあるので、昨年予算比2万円増の220,000円を計上した。

予算額の合計は1,970,000円を計上した。

今後の住民交流部会の活動は、地域ビジョンの推進と連携しながら、様々な活動計画を策定していかねばならないが、平成24年度はこの2事業でスタートをすることとなる旨述べた。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、平成24年度教育文化部会の事業計画(案)4事業について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、「地域の子どもは地域で守り・育てよう」を合言葉に、地域内の大人と子どもが交流を図り、距離を近づけることを目的に大きな事業を三つ行う予定をしている。」と述べた。

1. 桔” ザセミナー (第8回)

1) 夏6講座4回実施(料理、科学、囲碁、手芸、太鼓、よさこいソーラン、)夏まつりに太鼓とよさこいソーランが出演。

2) 冬3講座(料理、科学、手芸)ニューイヤーききょうフェスタに協力。予算額は260,000円。

2. こころの思い発表会 (第16回)

現代の子どものこころの思いを作文発表を通じて地域の大人に理解をしていただくことを目的としている。実施予定日は10月の公民館展に合わせて実施

する。地域内の小中学校から各3名の作文発表と2中学校の音楽演奏会を予定している。予算額115,000円。

### 3. ふるさと歴史ハイキング（第16回）11月10日（土）

地域の大人と子どもが交流を図りながら、地域の歴史を学び、ふるさとを愛するところを育てることを目的に実施。

行き先等は未定。予算額40,000円。

### 4. 私の一冊文庫

桔梗が丘サロンでの本の読み聞かせの協働事業に、本の購入費として助成。読み聞かせ事業以外に、平成24年7月19日（木）から26日（木）まで公民館で絵本展を開く予定。予算額は16,000円。

従って予算額の合計は431,000円となる旨述べた。

### <生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、平成24年度生活安全部会の事業計画（案）について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、防犯、防災、交通安全、住民生活の安全を守ることを目的に活動している。平成24年度は以下の事業活動を計画している。」と述べた。

1. 普通救命講習会を年間2回実施。実施日は消防署と協議して決定する。参加予定者は1回25名で合計50名。止血法、異物除去法、心肺蘇生法、AED取扱法を学ぶ。

2. AEDのレンタルを継続。レンタルはセコム三重㈱と5年契約し、平成26年まで継続している。費用は年間61,740円となっている。

### 3. 防犯パトロールの実施

青色回転灯を装着して地域内を巡回パトロールしている。毎月4回、3コースを2台で巡回。平成24年度は1名減となるので課題は隊員の確保。平成24年度中に最低1・2名確保したいと考えている。

予算額はガソリン代13,800円、活動費46,000円、傷害保険1,000円を計上した。

### 4. 命の笛

平成24年4月に地区内の3小学校の新入児童等に民生児童委員を通じて贈呈する。（150個）予算額は16,000円。

### 5. 自主防災隊

平成23年度スタートした自主防災隊の活動が本格化する。

平成24年度は各地区に於いて年1回の防災訓練の実施を計画している。来年度は中身の濃い、有意義なものとなるようにしていきたい。

6. 桔梗が丘マップの危険箇所の解消、改善取組みを促進する。

常に地域の様子を見て、対処できるようにしたい。

7. 桔梗が丘“ほっとまち”構想と協調して事業を進める。

以上で予算総額は140,000円となる旨を述べた。

#### <快適環境部会>

加納快適環境部会長欠席のため、上田理事から平成24年度快適環境部会の事業計画（案）について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、昨年実施した地球温暖化対策事業（緑のカーテン事業等）が大変好評であったので、平成24年度も3事業を引き続き実施したいと考えている。」と述べた。

##### 1. 地球温暖化対策事業（緑のカーテン事業）

平成24年5月4日（木）に希望する家庭や公共施設にゴーヤの苗を配付する。

平成24年9月10日～30日（日）に「我が家のゴーヤ自慢展」を開催して、栽培の様子の写真等の掲示を公民館で行う。

平成24年8月20日（月）～9月30日（日）頃までゴーヤお持ち帰りコーナーを設置する。

予算額は395,500円。

##### 2. 地球環境保全・教育啓発事業（ほたる観賞会・バードウォッチング）

ホテル観賞・バードウォッチングを通じて地域の自然や住環境を知り、自然に親しむだけでなく、環境をいかに保全し守ることが大切かを学ぶ。近年は親子での参加が多くなり賑わうようになった。（昨年参加者150名）

ホテル観賞会は、6月16日（土）午後7時から9時位までホテルの講話と観賞。場所は南公民館とシャックリ川。

バードウォッチングは平成25年1月6日（日）10号公園と西徳明池の周辺で実施。予算額は82,000円。

##### 3. 桔梗が丘クリーン作戦

平成24年6月に実施される「名張市クリーン作戦」に合わせて参加する。又同作戦に同調して活動する自治会を奨励する。予算額は60,000円。従って予算額の合計は537,500円となる旨を述べた。

#### <地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、平成24年度地域福祉部会の事業計画（案）について、別添資料に基き概ね次のような提案説明があった。

「当部会は、地区の民生委員が中心となって構成し、旧地区社協の事業を継承して活動を行っているが、平成24年度に取り組む活動は次の通り予定している。」と述べた。

##### 1. 高齢者、障害者等への友愛訪問

毎月1回地区の民生委員と「陽だまり」を携えて訪問。安否確認と相談・支援活動を実施。予算額50,000円。

##### 2. 年末友愛訪問

75歳以上のひとり暮らし、75歳以上の高齢者のみ世帯、重度の寝たきりや認知症の方等への友愛訪問。予算額220,000円。以上は高齢者等への訪

問活動となる。

### 3. 高齢者のつどいの実施

平成24年5月27日(日)に80歳以上の高齢者間の親睦を深めるつどい。予算額200,000円

### 4. いきいきサロンの実施

地域内14箇所の小地域で、高齢者の絆づくりと、親交を深める目的で開催。年間参加目標数を1700人。予算額510,000円。

### 5. グループホーム交流会

桔梗が丘地域内7箇所の障害者グループホームとの交流会を開催。予算額50,000円

### 6. 赤ちゃん、ちびっ子なかよし広場。

未就園児とその親のつどいを開催。開催時に使用する備品の痛みが激しいため、整理と一部購入の費用を予算化した。予算額50,000円

### 7. 地域高齢者への配食と見守りの協働事業として、配食グループ「友～友」及び「いこい」に共同事業として、それぞれ30,000円の合計60,000円を予算化した。

以上で予算額合計は1,140,000円。

引き続き議長は、総務委員会、企画運営委員会、広報委員会の事業計画について審議を求めた。

出席者からの意見交換の内容

(総務委員会)

- ・今年度の取り組み → 今年度の取り組みに訂正する。
- ・「備品購入費の内容を明記したほうが良い。」との意見に対し、最終案には記載をすることになった。

(企画運営委員会)

- ・「着手重点プロジェクト事業説明会の開催」は内容を工夫すべき。
- ・「重点プロジェクト事業の情報収集」 → 「取り組み」に変更した方が良い。

以上の意見交換の後、3委員会の事業計画は、修正の上、総会に諮ることが承認された。

次に、健康推進部会、住民交流部会、教育文化部会に事業計画について審議を求めた。

出席者からの意見交換の内容

(住民交流部会)

- ・どんど行事の予算が70,000円では厳しいと思う。理由はどんどの材料(藁、青竹等)の確保が年々難しく、協力農家へのお礼費用、参加者の増加による豚汁の材料費が多くかかるようになってきた。
- ・実際には予算の総額(ハッピーニューイヤききょうフェスタ)から配分すれば出来る。実際、平成23年度の実績をみるとカバー出来ると思うので、このままの予算額で計上する。

- ・事前に経費の立替が起きる場合はどうするか。繰出金を利用すれば良い。
- ・予算の策定は、予め想定される費用を概算で表している。

(健康推進部会)

- ・語句の訂正 ウォーキング → ウォーキング、ラヂオ → ラジオ
- ・文章の語尾を統一する。～します。 → する。等した方が良い。

(桔梗が丘体操会の周年行事について)

- ・桔梗が丘体操会の10周年記念事業費として10万円計上されているが、周年行事の定義を取り決めたほうが良いのではないか。
- ・この体操会の参加者は桔梗が丘地区全体に亘っていないのではないか。従って、協議会全体の事業の中で取り上げることはどうなのか。
- ・今後の問題として、いずれの地区に於いても伝統ある行事を実施しており、これらの事業が周年事業を行う場合、その起点をどう捉えるか、協議会としてどのように取組むのか、整理・精査しておいたほうが良い。
- ・周年事業を実施する場合の意義をはっきりと、住民に示さなければならない。
- ・事業の展開の仕方についても充分検討すべきである。
- ・今回は、桔梗が丘小学校に桜の苗木を贈るとの事だった。(地域内のバランスはどうか)

以上の意見交換の結果、桔梗が丘体操会の周年事業計画は再検討することが了承された。

(教育文化部会)

- ・語句の訂正 交通費 → 参加者への交通費補助。音楽部の経費 → 音楽演奏会経費。書籍購入 → 書籍購入助成。

以上の意見交換の後、健康推進部会、住民交流部会、教育文化部会の事業計画は、修正の上、総会に諮ることが承認された。

次に、生活安全部会、快適環境部会、地域福祉部会について審議を求めた。

(快適環境部会)

- ・バードウォッチング → バードウォッチング。粗品代 → 粗品代。

(生活安全部会)

(AEDについての意見交換)

- ・レンタルは、部会の事業費でなくてもいいのではないかと意見があったが、部会の業務との関わりが深いので現行どおりとなった。
- ・桔梗が丘地域内にどの範囲で「AED」が設置されているか、把握しておくことが必要との意見がまとまった。
- ・「桔梗が丘“ほっとまち”構想」と協調して事業を進めるとの文言を、全部の事業部会に入れるべきではないかと意見が出され、そのようにする事が了承された。

関連して、新規プロジェクト事業を立ち上げる場合、既存の事業部会との関連性・整合性をきっちり検討して行くとの説明があり了承された。

- ・災害時要援護者支援について、マップづくり等災害時の対応策拡充のための計



<p>3. 平成24年度公民館の事業計画(案)に関する件</p>	<p>画づくりを総務委員会が中心になって遂行していくことが了承された。</p> <p>以上の意見交換の後、生活安全部会、快適環境部会、地域福祉部会の事業計画は、修正の上、総会に諮ることが承認された。</p> <p>山中事務局長から平成24年度公民館事業計画(案)について別添資料に基き、概ね次のような説明があった。</p> <p>「平成24年度の公民館事業計画は13教室・講座。新しい講座は4講座、昨年に引き続き開講するものが9講座となる。」と述べた。</p> <p>1. 平成23年度から引き続き開講する9講座</p> <p>「タッチ・ザ・サイエンス」「サロン・ド・シャポネーゼ」「“農”を楽しむ」「しめ縄づくり」「メンネルコール桔梗」「シニアクラス・はな」「“活男厨房”」「くらしの書道」「小麦日和」活動内容はほぼ昨年と同じになる。</p> <p>2. 平成24年度新しく開講する4講座</p> <p>「“書遊”」・・・書道と学遊一緒に楽しく学ぶ。</p> <p>「郷土の歴史を学ぶ」・・・郷土・伊賀、名張の歴史を学ぶ。</p> <p>「パソコン教室」・・・初めてパソコンに触れる方対象。</p> <p>「写真教室」・・・写真撮影を通じて仲間作り。</p> <p>平成24年度から、講座・教室の区分が変更になっているので、それに合わせて区分をした旨を述べた。</p> <p>3. 夏期講座は次の3講座が決定している。残り1講座の講師を交渉中</p> <p>「文学：河原徳子氏・金子みすずと大正ロマン」</p> <p>「音楽：森内啓太氏・フルート演奏と講演」</p> <p>「食：橋本文夫氏・食を彩るお酒のお話」</p> <p>4. 行事は昨年度どおり、「ロビーコンサート」「プチコンサート」「映画鑑賞会」を予定している。</p> <p>引き続き議長は出席者に意見を求めた。特に出席者からは意見は無く採決の結果、全員挙手し、平成24年度公民館事業計画案は提案どおり承認された。</p>
<p>4. 平成24年度定時総会開催日決定の件</p>	<p>大垣副会長（総務委員長）から、桔梗が丘自治連合協議会の平成24年度定時総会を、平成24年5月19日（土）13時30分から桔梗が丘公民館講堂にて開催したい旨提案があった。</p> <p>広報委員長から、「ききょう通信」に定時総会の記事は掲載をはずすことは出来ないで、地域住民への配布が6月中頃になることを了承願いたい旨を述べた。</p> <p>その他に異論は無く、平成24年度定時総会開催日を5月19日（土）とする事は全員異議無く承認された。</p>
<p>5. 桔梗が丘公民館・南公民館長承認</p>	<p>辻森公民館長選考委員会委員長から、「先月公募並びに推薦を受け付けた桔梗が丘公民館長・南公民館長の募集について、館長選考委員会は、2名の応募者の面</p>

<p>の件</p>	<p>接を平成24年3月11日(日)に実施した。</p> <p>選考の結果、6番町の中村満氏を館長候補者に決定した。中村氏は協議会の総務委員会委員及び公民館運営委員会委員を務められている方で、適任者と判断をした。</p> <p>そこで、本日同氏を2公民館の館長としてご承認いただきたい。」と述べた。出席者からは特に意見は無く、全員異議無く承認された。</p>
<p>報告事項</p> <p>1. 地域代表者会議の報告について</p>	<p>辻森会長から、3月23日開催された「名張市地域づくり代表者会議」について、別添え資料に基き概ね次のような報告があった。</p> <p>1. 市役所各室からの依頼事項</p> <p>(1) 7月28日(土)午後7時30分から2012年「名張川納涼花火大会」が開催されるのに伴い、例年通りの市民協賛の依頼があった。具体的には公民館に募金箱の設置、告知ポスター、チラシの掲示等。合わせて協力金の依頼があったが結論は保留した。</p> <p>(2) 地域での夏まつりの開催・実施情報の提供依頼があった。ポスターやホームページをとおして地域に告知していくとのこと。</p> <p>(3) 名張地域福祉活動計画が出来た。後日各地域の福祉部会へ説明がある。</p> <p>(4) 名張市スポーツ推進委員の任期は、本来ならば平成24年3月末までとなっているが、三重県スポーツ推進委員協議会との関連から、1年間の継続依頼があったので承諾した。</p> <p>(5) 夏季の生ごみ資源化試行事業について、試行事業を実施したモデル地区での結果に基き、平成24年度中に具体的に策定作業が始まる予定。具体的内容については別紙資料を参照されたい。当地区としては、地区住民の費用負担・労力を十分考慮して進めるよう申し入れた。当協議議会としての対応策の検討を始めなければならない。</p> <p>(6) 地域環境推進員選出の依頼書が各自治会(区)長に届く。報償は去年は年額7,000円であったが、予算の関係から5,000円になりそう。</p> <p>(7) 名張クリーン大作戦の日程が6月3日(日)に決定した。</p> <p>(8) ゆめづく協働提案事業制度(案)については、地域と市が協働で実施することで、より効果・効率の向上が期待できる事業や地域の課題解決を図ることが期待される事業を対象としている。平成24年度から「協働事業制度」を導入し、平成25年度から予算に反映させ、事業が実施される予定。各地域の提案事業数は一地域5事業以内。事業目標額については、一地域の事業目標額を200万円とし、15地域総額3000万円以内で調整される。詳細については資料を参照。</p> <p>(9) 地域ビジョン発表会のアンケート結果がまとまった。詳細については資料を参照。</p> <p>(10) 名張市の機構改革により、地域づくり組織と公民館の窓口業務が「地域部」に一本化された。企画財政部金谷部長は定年退職された。新しい組織・</p>

<p>2. 平成23年度協議会会計及び公民館会計累計報告について</p>	<p>人員構成は別紙記載の通り。 以上の報告が辻森会長からあった。</p> <p>松村事務局次長（会計担当理事）から、平成24年2月末の協議会会計累計及び公民館会計累計について、別添資料に基き概ね次のような報告があった。</p> <p>&lt;協議会会計&gt;</p> <p>協議会会計は収入の部は環境保全推進助成金500,000円を計上。雑収入に東近江市視察団からの礼金5,000円と預金利息合わせて5,494円計上。</p> <p>支出の部は、総務費：事務費は2月分のコピー、印刷費及び災害時要援護者登録シート保管用ファイル購入費合わせて15,097円を計上。</p> <p>住民交流費：事業費にどんど行事の追加費用28,037円、快適環境費：事業費に事業実施活動費5,000円、地域福祉費：事業費は、いきいきサロンの補助金及び陽だまり用紙代の53,100円を計上した。</p> <p>積立金に昨年と同額の財政調整積立金50万円、自然災害積立金50万円、車両買換積立金20万円を計上した。</p> <p>2月分の支出額合計金額は、1,305,224円。</p> <p>&lt;公民館会計&gt;</p> <p>公民館会計の収入の部は、公民館の使用料、コピー代を合わせて合計388,877円を計上した。雑収入を合わせた収入額は389,574円。</p> <p>支出の部で主なものは、管理費でインク・印刷用紙代等の消耗品費66,668円、その他は、光熱水費等の毎月の支出。備品購入費にパソコン教室貸出用にノートパソコン2台の購入費148,239円を計上。運営費は、報償費として主催講座等の講師料25,000円、事業費に「農を楽しむ」講座の倉庫建設費39,618円とプチコンサートの楽器運搬費35,700円の負担分を計上。</p> <p>従って2月の支出額は1,615,717円となったと、以上の報告があった。</p> <p>引き続き意見交換があり、最終的に次年度予算策定にあたっては、残金もしくは繰越金の有効な方策を検討することになった。（老朽化した備品の取替え優先）</p>
<p>3. 各委員会・部会報告</p>	<p>&lt;総務委員会&gt;</p> <p>大垣副会長（総務委員長）から、定例会議を開催して、次年度の事業計画の策定及び公民館長より提案のあった公民館長に関して、公民館の規定の見直しの検討をしている旨、報告があった。</p> <p>&lt;企画運営委員会&gt;</p> <p>阪本企画運営委員長から、毎週日曜日に会議を開催し、地域ビジョンに関連した推進プロジェクトの検討を進めている旨、報告があった。</p>

<広報委員会>

野邊広報委員長から、「次期の広報委員長の人選をお願いしたが、現在適任者が見当たらないとのことであるので、それまで頑張るつもりです。」と述べた。

引き続き同委員長から、この2カ年の委員会の活動総括が、別添資料にもとづき報告があった。

(1) ききょう通信の発行は隔月で6回発行。その編集内容は資料を参照。

(2) ホームページについては、より親しみのあるものを目指し、リニューアルを実施した。しかし更新技術の習得に時間を要し、一部の委員に負担を及ぼす結果となっており、その体制の構築が今後の課題。

しかし最近はかなり更新が出来ているので、是非一度ご覧頂きたい。

その他、平成24年3月の委員会の活動内容が資料によって報告があった。

<住民交流部会>

廣岡住民交流部会長からは特に報告事項は無く、新年度に向かって新部会員の確保に注力している旨、報告があった。

<教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、資料の配付が無いようなので次回定例会で報告する旨を述べ、了承された。

<生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、部会活動について別添資料に基づき概ね次のような報告があった。

- ・ 3月3日(土)に開催された「地域ビジョン」発表会に参加した。発表内容も満足の行くものであったと思う。
- ・ 3月17日(土)に定例自治連合会に出席して、平成24年度の事業計画について説明し、異議無く了承された。
- ・ 青色回転灯装着車両による防犯パトロールを4回実施した。いずれの回も異常はなかった。
- ・ その他に、地域内の道路標示(止まれ)の改善を警察に要望していたが、最近改修された。

<地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、「配食サービスの「友～友」グループより依頼をされた、弁当の配達員ボランティア募集の回覧を自治連合会にお願いをした。ご了承いただきたい。」と述べた。

辻森会長から、「友～友」の配達の現状と、今後の活動の展開やあり方を検討していく旨を述べた。

出席者から、募集チラシの表現に「無償ボランティア」である事を明記したほうが良いとの意見があり、了承された。

<p>その他（連絡事項）</p> <p>1. 平成24年度の「理事会構成」について</p> <p>2. 「名張市防災講演会」の開催について</p> <p>3. 「子どもを守る家」のタペストリー</p> <p>4. 理事会懇談会開催について</p> <p>5. 名張市消防団桔梗が丘班から</p>	<p>大垣副会長から、次年度以降の理事会の役員について継続していただきたい旨を諮った。</p> <p>東監事から「仕事と諸般の事情から退任させていただきたい。」と述べ、了承された。</p> <p>大垣副会長から、「その他の委員長、部会長は留任いただくと考えてよろしいか。一方、自治連合会からの理事は一旦全員退任する。但し、辻森会長は自治連合会代表幹事、協議会会長として留まっていたくよう要請したい。」と述べた。</p> <p>辻森会長は「99パーセントその方向で考えている。」と述べ、出席者は了承した。</p> <p>梅本副会長は退任（但し、地域福祉部会長は留任）、大垣氏は委員会・部会からの副会長（総務委員長）となる事も了承された。</p> <p>辻森会長から、平成24年3月27日（火）「名張市防災講演会」がアドバンスコープADSホールで開催される。講師は群馬大学教授の片田敏孝氏で、演題は「想定外を生き抜く力」となっている。時節柄大変タイムリーな問題について講演されると思うので、ご都合のつく方はご参加いただきたい旨を述べた。</p> <p>「子どもを守る家」のタペストリーが出来上がったので、自治連合会を通して協力いただける家庭に配布をすることになった旨、報告があった。</p> <p>大垣副会長から、「平成24年5月19日（土）定時総会終了後、理事会懇談会を開催する予定をしているのでご参加いただきたい。」と述べた。</p> <p>田合名張市消防団桔梗が丘班班長から、「桔梗が丘自治連合会を通じて消防団員の募集をして頂いた結果、新しく5名の方に加入いただいた。この結果本年度は24名体制でスタートをすることになった。」と述べた。引き続き団員を募集するのと、今年度の活動予定について報告があった。</p> <p>名張市地域担当職員として、理事会及び活動に協力いただいた谷川恵一、中森比呂之両氏から、名張市の機構改革により今年度限りで退任されることになり、退任の挨拶があった。</p> <p>以上で議事は終了した。</p> <p>次回理事会は、平成24年4月28日（土）</p> <p>時 間 午前9時30分より</p> <p>場 所 桔梗が丘公民館 202号室</p>
---	--

議長 辻森保蔵 (辻森)

議事録署名人 吉野孝司 (吉野)

議事録署名人 松村 勲 (松村)

	副会長	副会長	総務委員長	書記
				